

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	政治 I		担当者	古堅・伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	公務員として職務遂行の為に必要な現代日本の憲法や政治制度、海外の政治制度についての知識を身につける。					
到達目標	①政治の概念や各国の選挙制度、日本の司法・立法・行政の役割を説明することが出来る。 ②我が国の選挙制度や政党の役割について基礎的知識を習得し、説明することが出来る。 ③評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 政治の基本概念(近代国家、社会契約論)				1
	2	第2章 政治制度論(権力分立論、議院内閣制)				1
	3	第2章 政治制度論(大統領制、各国の政治制度)				1
	4	第3章 政治過程論、第4章 戦後日本政治史、第5章 日本国憲法の特徴				1
	5	第6章 基本的人権総論				1
	6	第7章 包括的基本権、第8章 平等権				1
	7	第9章 精神的自由権、第10章 経済的自由権、第11章 人身の自由				1
	8	第12章 社会権				1
	9	第13章 能動的権利と受益権				1
	10	第14章 憲法改正の手続				1
	11	第15章 国会の機構と運営(国会の地位と機構、国会と議院の権能、議員の特権)				1
	12	第15章 国会の機構と運営(衆議院の優越、国会の種類、審議と評決)				1
	13	第16章 内閣の機構と運営(議院内閣制と内閣の構成)				1
	14	第16章 内閣の機構と運営(内閣総理大臣と内閣の権能)				1
	15	第17章 裁判所の機構と運営(司法権の帰属、司法権の独立)				1
	16	第17章 裁判所の機構と運営(裁判所の機構と裁判の仕組み、違憲法令審査権)				1
	17	第19章 地方自治				1
	18	問題演習(一般教養力検定の答練および過去問題)				5
	19	一般教養力検定の基礎答練 第1回				1
	20	一般教養力検定の基礎答練 第2回				1
	21	一般教養力検定の基礎答練 第3回				1
	22	一般教養力検定の基礎答練 第4回				1
	23	一般教養力検定の直前答練 第1回				1
	24	一般教養力検定の直前答練 第2回				1
	25	一般教養力検定の直前答練 第3回				1
	26	一般教養力検定の本試と解説				1
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数	2	合計時間数	30
教科書	テキスト 政治、スタンダード問題集・解答解説、レジュメ					
時間外 学習	予習:前日に次回学習範囲のテキストに目を通す ※15～30分程度					
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30～60分程度					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	経済Ⅰ		担当者	伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	公務員として職務遂行の為に必要な経済の仕組みや日本や海外の経済史についての基礎的知識を身につける。					
到達目標	①現代の日本経済及び世界経済の動向及び、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解するとともに、その特質を把握し、経済についての基本的な見方や考え方を修得し、経済対策に対する自分の意見を述べる事が出来る。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	科目ガイダンス(経済に関する知識の確認、到達目標の確認等)				1
	2	第1章 経済社会の変容と経済体制				2
	3	第1章 チェックテスト				1
	4	第2章 現代の企業				2
	5	第3章 現代の市場				2
	6	第2章、第3章 チェックテスト				1
	7	第4章 国民所得				1
	8	第5章 経済成長と景気循環				1
	9	第4章、第5章 チェックテスト				1
	10	第6章 通貨制度と金融制度				1
	11	第7章 財政制度と財政政策				1
	12	第6章～第7章 チェックテスト				1
	13	第8章 貿易と外国為替				1
	14	第8章 チェックテスト				1
	15	第9章 日本経済の動向				1
	16	第10章 国際経済の動向				1
	17	第9章、第10章 チェックテスト				1
	18	問題演習(一般教養力検定の答練および過去問題)				15
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	大原出版株式会社 経済 テキスト・問題集・解答・レジュメ					
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲のテキストに目を通す ※15～30分程度					
	復習:勉強した範囲のテキストに再度目を通し、演習問題を解く ※30～60分程度					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	社会Ⅰ		担当者	伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	公務員として職務遂行の為に必要な、最低限度の社会の仕組みや、環境問題や国際関係についての知識を身につける。					
到達目標	①労働に関する基礎を身に着け、労働法規や現在の労働問題を説明できる。 ②環境問題と人間社会の関連性を見つけ、今後起こりうる社会・環境問題を予測することが出来る。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	オリエンテーション				1
	2	第2章 労働問題(労働法規)				1
	3	第2章 労働問題(労働法規、日本の労働状況)				1
	4	第3章 社会保障(社会保障制度、社会保障の状況)				1
	5	第3章 社会保障(社会保障の状況)				1
	6	第4章 環境問題(日本の環境問題)				1
	7	第4章 環境問題(地球環境問題)				1
	8	第5章 国際関係(国際社会と国際法、国際機関―国連関係)				1
	9	第5章 国際関係(国際機関―国連関係、国際情勢、日本の外交・安全保障)				1
	10	国際機関チェックテスト				1
	11	第6章 現代の諸相(消費者保護、医療・健康問題)				1
	12	第6章 現代の諸相(科学技術、食料・農業)				1
	13	問題演習(一般教養力検定の答練および過去問題)				22
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	大原出版株式会社 社会 テキスト・問題集・解答					
時間外 学習	予習:前日に次回学習範囲のテキストに目を通す ※15～30分程度					
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※15～30分程度					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	世界史ⅠA(西洋史)		担当者	古堅 雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	世界各国の古代から現代にいたる政治、経済、文化の変遷についての基礎的知識を身につけ、公務員の職務遂行に求められる世界各国の歴史についての教養を深める。					
到達目標	世界の歴史の大きな流れを地理的条件なども関連づけて捉え、歴史的思考力を高める。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	古代地中海世界(古代ギリシア・古代ローマ)				4
	3	中世ヨーロッパ				4
	4	近代ヨーロッパ				5
	5	16-18世紀のヨーロッパ				4
	6	西洋史確認テスト				1
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	テキスト世界史、スタンダード問題集・解答解説					
時間外 学習	予習:次回授業で学習する教科書の範囲に目を通す(15-30分程度)					
	復習:授業で学んだ分野をその日のうちに問題演習などで復習する(30-60分程度)					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	世界史ⅠA(東洋史)		担当者	城間 康之	科目必修区分	必修
授業概要	アジア各国の現代にいたる政治、経済、文化の変遷についての基礎的知識を身につけ、公務員の職務遂行に求められるアジアの各国の歴史についての教養を深める。					
到達目標	古代中国の歴史の大きな流れを地理的条件なども関連づけて捉え、日本に与えた影響を通して両国のつながりも確認しつつ、歴史的思考力を高める。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	中国史(殷・周)				2
	3	中国史(秦・前漢)				3
	4	中国史(新・後漢)				3
	5	中国史(魏・晋・南北朝時代)				3
	6	中国史(隋)				3
	7	中国史(唐)				3
	8	中国史確認テスト				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	テキスト世界史、スタンダード問題集・解答解説					
時間外学習	授業で学んだ歴史的思考力を踏まえ中国に関するニュースについて何故起きたのか考えてみる 復習:授業で学んだ分野をその日のうちに問題演習などで復習する(30-60分程度)					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	日本史ⅠA		担当者	伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	日本の古代から現代にいたる政治、経済、文化の変遷の基礎的知識を身につける。その上で公務員の職務を遂行する際に必要な日本の歴史についての理解を深める。					
到達目標	①我が国の歴史を世界史や地理的条件と関連付け、総合的な歴史観を身に着ける ②日本の伝統、文化、国民性を理解し、歴史を通して主体的思考力を養い、我が国の歴史の流れを説明することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	日本史概要				1
	2	聖徳太子、天智天皇、天武天皇、持統天皇の政治についての講義				1
	3	奈良時代の政治についての講義				1
	4	摂関政治・院政についての講義				1
	5	源氏と平氏の権力争いについての講義				1
	6	鎌倉幕府の成立についての講義				1
	7	守護・地頭の仕事、承久の乱についての講義				1
	8	執権(3代北条泰時・5代北条時頼)・元寇についての講義				1
	9	鎌倉幕府滅亡から南北朝統一までの流れについての講義				1
	10	室町幕府の役職・仕組み・文化の特徴についての講義				1
	11	織田信長・豊臣秀吉の政治についての講義				1
	12	徳川家康(初代)・徳川秀忠(2代)の政治についての講義				1
	13	徳川家光(3代)の政治、鎖国体制についての講義				1
	14	徳川家綱(4代)・綱吉(5代)・新井白石の政治についての講義				1
	15	元禄文化・享保の改革についての講義				1
	16	田沼意次・寛政の改革についての講義				1
	17	各国の来航・天保の改革についての講義				1
	18	開国から条約締結、安政の大獄、桜田門外の変までの流れの講義				1
	19	薩摩・長州藩の動き、大政奉還から戊辰戦争までの流れについての講義				1
	20	問題演習(一般教養力検定の答練および過去問題)				3
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数	1	合計時間数	22
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル					
時間外学習	授業で学習した分野のチェックテストを復習に使用することを奨める。 復習の時間で授業で学習した分野のノート作成や過去問1問以上取り組む。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	地理ⅠA		担当者	古堅 雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	日本や世界の環境や文化、地形の成り立ち等を学び、地域的、社会的な構造を学ぶ。					
到達目標	なぜそこでこのような社会的事象が起こっているのか、どのように広がっているのかを考える地理的な見方・考え方を身に付けることができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 自然環境と地図(地形)				2
	2	第1章 自然環境と地図(世界の気候・植生・土壌)				2
	3	第1章 自然環境と地図(地図の特色と利用)				1
	4	第2章 資源と産業(食料の生産と消費)				4
	5	第2章 資源と産業(エネルギー資源と原料資源)				4
	6	第2章 資源と産業(工業化と工業地域)				2
	7	第3章 生活と地域(村落と都市)				1
	8	第3章 生活と地域(人口の地域的特色)				1
	9	第3章 生活と地域(国土と住民)				1
	10	第3章 生活と地域(交通・通信と貿易)				1
	11	第3章 生活と地域(世界の環境問題)				1
	12	地理確認テスト				1
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	テキスト 地理、スタンダード問題集					
時間外 学習	予習:次回授業で学習する教科書の範囲に目を通す(15-30分程度)					
	復習:授業で学んだ分野をその日のうちに問題演習などで復習する(30-60分程度)					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	数的推理Ⅰ		担当者	上地・高良	科目必修区分	必修
授業概要	「速さ」「仕事算」「場合の数」など数学の基礎的分野の解法習得を目的とする。					
到達目標	方程式・割合・速さ・整数計算パズル・仕事算・場合の数・確率の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	序章 数と文字式の計算(P1～P3)～ 第1章 方程式・不等式(P4～P9)			2	
	2	第1章 方程式・不等式 第2節(P10～P11) 第1章 方程式・不等式 第3節(P12～P19)			1	
	3	第1章 一般教養力検定の演習			1	
	4	第2章整数・計算パズル 第1節 倍数と約数(P20～P26)			1	
	5	第2章 整数・計算パズル 第2節 割り算の余り(P27～P31)			1	
	6	第2章 整数・計算パズル 第3節 整数の性質(P32～P35)			1	
	7	第2章 整数・計算パズル 第4節 数列(P36～P40)			1	
	8	第2章 整数・計算パズル 第5節 n進数(P41～P43)			1	
	9	第2章 整数・計算パズル 第6節 その他、整数に関する問題(P45～P51)			1	
	10	第1章 一般教養力検定の演習			1	
	11	第3章 割合と比 第2節 比(P55～P59)			1	
	12	第3章 割合と比 第3節 売買算(P60～65)			1	
	13	第3章 割合と比 第4節 濃度(P66～P74)			1	
	14	第3章 一般教養力検定の演習			1	
	15	第4章 速さ 第1節 速さ(P75～P82)			1	
	16	第4章 速さ 第2節 旅人算(P83～P89)			1	
	17	第4章 速さ 第3節 通過算(P90～P93)			1	
	18	第4章 速さ 第4節 流水(P94～P97) 第4章 速さ 第5節 時計算(P98～P100)			1	
	19	第4章 一般教養力検定の演習			1	
	20	第5章 その他の文章題 第1節 仕事算(P101～P110)			1	
	21	第5章 その他の文章題 第2節 ニュートン算(P111～P114)			1	
	22	第5章 その他の文章題 第3節 牛馬算(P115～P118) 第5章 その他の文章題 第4節 平均算(P119～P122)			1	
	23	第5章 一般教養力検定の演習			1	
	24	第6章 場合の数 第1節 場合の数(P123～P130)			1	
	25	第6章 場合の数 第2節 順列・重複・円順列(P131～P136)			1	
	26	第6章 一般教養力検定の演習			1	
	27	第7章 確率 第1節 事象と確率(P137～P139)			1	
	28	第7章 確率 第2節 赤玉白玉・くじ引き(P140～P145)			1	
	29	第7章 確率 第3節 サイコロ・コイン・じゃんけん・期待値(P146～P150)			1	
	30	第7章 一般教養力検定の演習			4	
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	数的推理[問題編・解答編]、スタンダード問題集数的処理[問題編・解答編]					
時間外学習	課題が残れば何度でも演習のやり直しを求める。					
	なお、はじめのうちは毎時間のように小テストを行う。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	判断推理Ⅰ		担当者	上地	科目必修区分	必修
授業概要	「位置・方位」「論理」「対応」「順序」等各分野の解法習得を目的とする。具体的には基礎問題を解くための文章や表を正確に読み取る能力を養うものとする。					
到達目標	1.文章問題から問題出題者の意図を理解し、図化できるようになる。 2.講義や問題集における演習問題を解くことが出来るようになる。 3.評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	ガイダンス(数的処理の中の判断推理について) 第1章 論理①(対偶と三段論法)P1～P16				1
	2	第1章 論理③(論理と集合P14～P18				1
	3	第1章 確認テスト				1
	4	第2章 集合の要素①(ベン図の書き方、見方、計算の仕方 2集合・3集合)P19～P25				1
	5	第2章 集合の要素③(キャロル表の書き方、見方、計算の仕方、交わりの最小値)P26～P3				1
	6	第2章 確認テスト				1
	7	第3章 順序①(順序の確定、ブロック化、一列パズルの作り方)P32～P35				1
	8	第3章 順序②(順序緒変動、二列パズルの作り方)P39～P42				1
	9	第3章 順序③(順序の数値条件)P43～P50⇒解説順不同				1
	10	第3章 順序④(時計のすれ)P51～P53 第3章 確認テスト				1
	11	第4章 位置・方位①(位置、座席表問題)P54～P59				1
	12	第4章 位置・方位③(円卓、議長席、道を隔てて)P60～P69				1
	13	第4章 位置・方位⑤(方位、作図)P70～P74				1
	14	第4章 確認テスト				1
	15	第5章 対応①(対応関係2集合)P75～P77				1
	16	第5章 対応②(対応関係3集合以上)P78～P81				1
	17	第5章 対応③(スケジュール表)P82～P85				1
	18	第5章 対応④(対応の数値条件)P88～P92				1
	19	第5章 確認テスト				1
	20	第6章 勝敗①(リーグ表の書き方、見方)P93～P97				1
	21	第6章 勝敗②(トーナメント表の書き方、見方)P98～P102				1
	22	第6章 確認テスト				1
	23	第7章 一つ一つ①(該当者一人問題、十分条件・十分必要条件、発言矛盾、 グループ分け問題)P103～P111 解説順不同				1
	24	第7章 一つ一つ②(該当者一人問題、十分条件・十分必要条件、発言矛盾、 グループ分け問題)P103～P111 解説順不同				1
	25	第7章 確認テスト				1
	26	第8章 暗号①(カタ変換、アルファベット変換、トランプ、オレカエ、 ブラジヨミ 演算 正確法)P112～P118 解説順不同				1
	27	第8章 確認テスト				1
	28	第9章 推理・手順① P119～P126 解説順不同				1
	29	第9章 推理・手順③(カードゲーム)P127、P128				1
	30	第9章 推理・手順④(てんびん、手順)P132～P137 解説順不同				1
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	判断推理[問題編・解答編]、スタンダード問題集数的処理[問題編・解答編]					
時間外 学習	課題が残れば何度でも演習のやり直しを求める。					
	なお、はじめのうちは毎時間のように小テストを行う。					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	空間把握・図形 I		担当者	崎原	科目必修区分	必修
授業概要	公務員に必要な、想像・分析する力をこの科目を通して身につける。警察や消防では、車や家に閉じ込められた人などの、こちらからは見えないものについて想像・分析する必要がある、この科目を通して、その力をつける					
到達目標	一般教養力検定1級にて、8割以上の得点率を目指し、それをもって、公務員に必要な想像力と分析力がついたと判断する。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(一筆書き基礎)				1
	2	折り紙				1
	3	道順				1
	4	数える問題				1
	5	平面の分割と合成				1
	6	回転の軌跡				1
	7	一筆書き応用				1
	8	展開図				1
	9	積み木①				1
	10	積み木②				1
	11	回転体				1
	12	平方根の計算				1
	13	三平方の定理				1
	14	相似な図形				1
	15	面積比				1
	16	角度				1
	17	円と角度				1
	18	体積				1
	19	一般教養力検定1級の答練 基礎答練第1回				1
	20	一般教養力検定1級の答練 基礎答練第2回				1
	21	一般教養力検定1級の答練 基礎答練第3回				1
	22	一般教養力検定1級の答練 基礎答練第4回				1
	23	一般教養力検定1級の答練 直前答練第1回				1
	24	一般教養力検定1級の答練 直前答練第2回				1
	25	一般教養力検定1級の答練 直前答練第3回				1
	26	一般教養力検定本番とその見直し				3
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数	1	合計時間数	28
教科書	図形・空間把握[問題編・解答編]、スタンダード問題集数的処理[問題編・解答編]					
時間外学習	週テストにて確認する為、土日に解き方の復習をしてもらう。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	文章理解Ⅰ		担当者	古堅 雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	現代文の読解力を高めるための基礎的知識と問題の解法を習得する。					
到達目標	国語の基本的な知識や技能を身に付け、文章の内容を的確に読み取ることができるようになる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	文章理解 文と文章(指示語・接続語・				1
	2	文章理解 内容把握問題(要旨把握・内容合致)				2
	3	文章理解 整序問題				1
	4	文章理解 空欄補充問題(語句・文章)				2
	5	文章理解問題演習・解答解説				5
	6	一般教養力検定試験 文章理解問題演習・解答解説				4
	7	公務員試験過去問プリント演習・解答解説				1
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	テキスト 文章理解、スタンダード問題集					
時間外学習	解けなかった問題については授業などの解説を参考に再度解き直しを行い、自力で解けるように努力する。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	演習		講義時期	前期
授業科目	公務員試験演習ⅠA		担当者	高良、伊佐		科目必修区分	必修
授業概要	1. 公務員試験対象科目(社会科学・人文科学・自然科学・数的推理・課題処理)の各週の授業進捗状況に合わせた演習を行い、授業知識の定着と復習の習慣づけを狙う。 2. 国家公務員及び地方公務員採用試験の模擬問題の演習を元に、各科目の理解の促進を図る。						
到達目標	1. 各演習において、8割以上の得点を目指す。 2. 毎週月曜日に週テストを行う為、土日に最低 3 時間以上の自宅学習を行う習慣を身に着ける						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	4月第2週授業内容からの総合演習				2	
	2	4月第3週授業内容からの総合演習				2	
	3	4月第4週授業内容からの総合演習				2	
	4	4月第5週授業内容からの総合演習				2	
	5	5月第1週授業内容からの総合演習				2	
	6	5月第2週授業内容からの総合演習				2	
	7	5月第3週授業内容からの総合演習				2	
	8	5月第4週授業内容からの総合演習				2	
	9	6月第1週授業内容からの総合演習				2	
	10	6月第2週授業内容からの総合演習				2	
	11	6月第3週授業内容からの総合演習				2	
	12	6月第4週授業内容からの総合演習				2	
	13	6月第5週授業内容からの総合演習				2	
	14	7月第1週授業内容からの総合演習				2	
	15	7月第2週授業内容からの総合演習				2	
	16	7月第3週授業内容からの総合演習				2	
	17	夏休み明け総合演習				2	
	18	8月第4週授業内容からの総合演習				2	
	19	8月第5週授業内容からの総合演習				2	
	20	9月第1週授業内容からの総合演習				2	
	21	9月第2週授業内容からの総合演習				2	
	22	9月第3週授業内容からの総合演習				2	
	23	9月第4週授業内容からの総合演習				2	
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
			科目単位数	2	合計時間数	46	
教科書	大原公務員対策用テキスト全種						
時間外学習	正答・誤答問題の解きなおし、及び補完知識の学習を行うこと。						
成績評価方法	【出席(30P)】【授業態度(30P)】【評価テスト(40P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	職業研究ⅠA		担当者	高良,伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	官庁訪問、公務員及び民間企業の職業研究やインターンシップ、現職公務員及び公務員経験者の講話、模擬面接等を通じ、社会人に求められる資質を高めることを目的とする。					
到達目標	志望する公務員や民間企業の職務内容に対する知識を持ち、業務遂行にあたり、求められる職業館や資質を高め、希望就職先の面接試験に合格できる基準を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	新入生宿泊研修				14
	2	裁判所事前学習・裁判所見学・裁判傍聴・レポート作成				4
	3	沖縄県警・税関見学				4
	4	防衛省事前学習・防衛講話(災害派遣活動と安全保障について)、自衛隊基地見学・レポート作成				6
	5	インターンシップ事前学習、社会福祉協議会ボランティア講話				2
	6	性教育講話				2
	7	卒業生講話				4
	8	コース選択説明会				2
	9	税務講話・国税見学				6
	10	合格祝賀会				4
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	3	合計時間数
教科書	各講義やプログラムでの配布資料					
時間外学習	各講義やプログラムの内容を確認し、インターネット等で講師のプロフィールや関係団体の活動内容について調べておくこと					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	実習		講義時期	通年
授業科目	特別活動演習Ⅰ		担当者	高良,伊佐		科目必修区分	必修
授業概要	イベントの企画運営を通じ、社会人基礎力としての自己管理能力や判断力、まわりとの協働の方法を学ぶ						
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	新入生オリエンテーション					20
	2	旭町校舎新入生歓迎ビーチパーティ					6
	3	進路面談					2
	4	旭町校舎親睦会					6
	5	海上保安庁合同訓練参加					6
	6	旭町校舎学園祭準備及び学園祭本番					24
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	64
教科書	各プログラム配布資料						
時間外 学習							
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナー		担当者	瀧石	科目必修区分	必修
授業概要	「ビジネス実務マナー検定3級」の学びを通し、ビジネスマンとしての資質、組織の機能、対人関係、電話実務、文書の取扱い等の知識技能を身につけます。また毎時間ビジネススーツを着用し「身だしなみを整え」「知っているだけでなく「いつも実践している」を目指し「ビジネスマナー習得」を図ります。					
到達目標	・ビジネスマンとしての資質を理解し、チームワークが取れる人になる ・良識を持ち素直な態度がとれ、感じの良い来客・電話応対ができる ・文書作成や事務機器の基礎的な知識がある					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	授業(検定)概要の説明・自己紹介 【ワーク】仕事をイメージする・本検定を学ぶ理由				2
	2	【理論編】Ⅱ企業実務 検定問題(3回分)を解く→解説				2
	3	【実技編】Ⅲ対人関係(記述含む) 検定問題(3回分)を解く→解説				2
	4	【実技編】Ⅳ電話実務 検定問題(3回分)を解く→解説				2
	5	【実技編】Ⅴ技能(記述含む) 検定問題(3回分)を解く→解説				2
	6	模擬試験(実問題)の解答①				2
	7	模擬試験(実問題)の解答解説②				2
	8	模擬試験(実問題)の解答解説③				2
	9	模擬試験(実問題)の解答解説④				2
	10	模擬試験(実問題)の解答解説⑤				2
	11	模擬試験(実問題)の解答解説⑥				2
	12	模擬試験(実問題)の解答解説⑦				2
	13	模擬試験(実問題)の解答解説 検定試験直前対策(一問一答)				2
	14	実技:電話応対(不在時の対応)				2
	15	実技:来客応対(飲み物接待)				2
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数		1	合計時間数	
教科書	「ビジネス実務マナー検定」実問題集(早稲田教育出版)					
時間外 学習	授業で理解し習得した内容を日々活用する					
	検定問題を宿題にし、各自で解く					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		OA機器・自動車販売系企業での営業職歴 4年				

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	情報科学演習Ⅰ（文書作成）		担当者	高良	科目必修区分	必修
授業概要	ビジネスに活用できるPC操作の修得を目的とする。Microsoft Wordを用いてビジネス文書作成に関する基礎的な知識・技能を身に着ける。					
到達目標	①キーボードを見ずに”タッチタイピング”ができ、10分間で”300字以上”の文字入力ができる ②Microsoft Wordの基本機能を使い、”通信文のルールに沿った”バランスの良い書類を成することができる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	スケジュール確認、PC環境の確認、アプリケーションの準備(MIKATYPE)など				2
	2	ポジション練習①(MIKATYPEを使用してタッチタイピングの徹底)				2
	3	ポジション練習②(課題:ホームポジション→上段→全段)				2
	4	ポジション練習③(ローマ単語練習)				2
	5	速度練習①(速度試験ルールを学ぶ)				1
	6	速度練習②(各受験級の設定文字数超えを目指す)				3
	7	通信文練習①(各級ごとの通信文試験のルールを学ぶ)				2
	8	通信文練習②(時間内にバランスよく仕上げられるように練習)				4
	9	総合練習(速度試験、通信文試験を時間内に基準点超えを目指す)				4
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	日本情報処理検定協会が公開する過去問を使用					
時間外 学習	実習動画の視聴(タイピングやPC操作に関するもの)					
	自宅にPCがある場合はブラインドタッチの練習					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	情報科学演習 I（表計算）		担当者	當間	科目必修区分	必修
授業概要	ビジネスに活用できるPC操作の修得を目的とする。Microsoft EXCELを用いて表計算に関する基礎的な知識・技能を身に着ける。					
到達目標	日本情報処理技能検定協会の表計算の3級の試験において、合格できるレベルを目標とする					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	基本操作（演習問題があるフォルダへの操作とエクセルの保存）				1
	2	セルの編集状態と、文字の入力				1
	3	簡単な四則演算				1
	4	SUM関数				1
	5	AVERAGE関数				1
	6	MAX関数とMIN関数				1
	7	IF関数（比較演算子）				1
	8	構成比率の算出（絶対参照）				1
	9	罫線の引き方				1
	10	4級の練習1（関数のみ）				1
	11	4級の練習2（入力から）				1
	12	4級の練習3（入力から）				1
	13	並べ替え				1
	14	書式設定と段落				1
	15	3級演習1（入力済みから）				1
	16	3級演習2（一から作成）				1
	17	3級演習3（一から作成）				1
	18	3級演習4（時間を図って）				1
	19	3級演習5（時間を図って）				1
	20	3級演習6（時間を図って）				1
	21	3級演習7（時間を図って）				1
	22	3級演習8（時間を図って）				1
	23	3級演習9（時間を図って）				1
	24	試験対策1				1
	25	試験対策2				1
	26	試験対策3				1
	27	試験対策4				1
	28	試験本番				1
	29					
	30					
			科目単位数	1	合計時間数	28
教科書	日本情報処理技能検定協会にて公開されている過去問と作成手順を使用する。					
時間外学習	後半は自主練習ができるので、パソコン室で各自練習して欲しい。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	公務員実践演習ⅠA		担当者	崎原・伊佐・高良	科目必修区分	必修
授業概要	模擬政策立案や公務員の実践的な運動などを通し、公務員の仕事について理解を深め、実際の仕事に必要な技術を身につける					
到達目標	①地域の公安職公務員の訓練に参加するとともに志望する公務員の体力試験に十分合格することが出来る体力を養いつつ、心身を鍛え自己研鑽の習慣を身に着けることが出来る。 ②志望する公務員2次試験に合格する基準まで自己表現の幅を身に着ける。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	体力錬成				18
	2	那覇消防インターンシップ				6
	3	海上保安庁インターンシップ				6
	4	模擬面接練習				14
	5	模擬面接会				6
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	3	合計時間数
教科書	各講義やプログラムでの配布資料					
時間外学習	各講義やプログラムの内容を確認し、インターネット等で講師のプロフィールや関係団体の活動内容について調べておくこと					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	一般教養総合演習		担当者	高良,伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	一般教養力検定を通し、公務員に必要な総合的な教養力を図るための演習を行う。					
到達目標	一般教養力検定2級及び1級の模擬答練では80%正答めざし、本試験では合格基準を超えることを目標とする。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	一般教養力検定2級 基礎答練				12
	2	一般教養力検定2級 実践答練				14
	3	一般教養力検定2級 本試験				4
	4	一般教養力検定1級 基礎答練				12
	5	一般教養力検定1級 実践答練				14
	6	一般教養力検定1級 本試験				4
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	4	合計時間数
教科書						
時間外 学習	正答・誤答問題の解きなおし、及び補完知識の学習を行うこと。					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	世界史ⅠB(西洋史)		担当者	古堅 雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	世界各国の古代から現代にいたる政治、経済、文化の変遷についての基礎的知識を身につけ、公務員の職務遂行に求められる世界各国の歴史についての教養を深める。					
到達目標	世界の歴史の大きな流れを地理的条件なども関連づけて捉え、歴史的思考力を高める。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	19世紀前半の欧米				3
	2	19世紀後半の欧米				3
	3	第一次世界大戦				3
	4	第二次世界大戦				3
	5	第二次世界大戦後の世界				2
	6	西洋史確認テスト				1
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	テキスト世界史、スタンダード問題集・解答解説					
時間外 学習	予習:次回授業で学習する教科書の範囲に目を通す(15-30分程度)					
	復習:授業で学んだ分野をその日のうちに問題演習などで復習する(30-60分程度)					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	世界史ⅠB(東洋史)		担当者	城間 康之	科目必修区分	必修
授業概要	アジア各国の現代にいたる政治、経済、文化の変遷についての基礎的知識を身につけ、公務員の職務遂行に求められるアジアの各国の歴史についての教養を深める。					
到達目標	中世から近世に至る中国の歴史の大きな流れを地理的条件なども関連づけて捉え、諸外国との関係性を確認しつつ、歴史的思考力を高める。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	中国史(宋)				2
	2	中国史(モンゴル帝国・元)				3
	3	中国史(明)				3
	4	中国史(清)				3
	5	中国史(清末)				3
	6	中国史確認テスト				1
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	テキスト世界史、スタンダード問題集・解答解説					
時間外学習	授業で学んだ歴史的思考力を踏まえ中国に関するニュースについて何故起きたのか考えてみる 復習:授業で学んだ分野をその日のうちに問題演習などで復習する(30-60分程度)					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義		講義時期	後期
授業科目	日本史ⅠB		担当者	伊佐		科目必修区分	必修
授業概要	日本史ⅠAを受講した学生を対象に、江戸から現代までの政治、経済、文化の変遷の知識を身につける。その上で、日本の公務員の成り立ちを理解し、公務に生かす。						
到達目標	①我が国の歴史を世界史や地理的条件と関連付け、総合的な歴史観を身に着ける ②日本の伝統、文化、国民性を理解し、歴史を通して主体的思考力を養い、我が国の歴史の流れを説明することが出来る。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	江戸幕府の成立と支配の仕組み					1
	2	経済の発達と2つの文化					1
	3	幕政改革と社会の動揺					1
	4	開国と幕末の動乱					1
	5	明治維新と近代化への改革					1
	6	立憲国家の成立と日清・日露戦争					1
	7	産業革命と近代文化					1
	8	第一次世界大戦と大正デモクラシー					1
	9	恐慌から太平洋戦争へ					1
	10	占領下の日本と戦後改革					1
	11	冷戦の勃発と国際社会への復帰					1
	12	高度経済成長とその光と影					1
	13	55年体制の展開と国際地位の向上					1
	14	バブル経済と平成の混迷					1
	15	現代の課題とまとめ					1
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	1	合計時間数	15
教科書	日本史テキスト						
時間外 学習	課題が残れば何度でも演習のやり直しを求める。						
	なお、はじめのうちは毎時間のように小テストを行う。						
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	地理ⅠB		担当者	古堅 雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	日本や世界の環境や文化、地形の成り立ち等を学び、地域的、社会的な構造を学ぶ。					
到達目標	なぜそこでこのような社会的事象が起こっているのか、どのように広がっているのかを考える地理的な見方・考え方を身に付けることができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 日本の地理(国土・人口・産業・諸地域)				2
	2	第5章 世界の国々(アジア)				3
	3	第5章 世界の国々(アフリカ)				3
	4	第5章 世界の国々(ヨーロッパ、ロシアと周辺諸国)				3
	5	第5章 世界の国々(アングロアメリカ、ラテンアメリカ)				3
	6	第5章 世界の国々(オセアニア)				3
	7	地理確認テスト				1
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	テキスト 地理、スタンダード問題集・解答解説					
時間外 学習	予習:次回授業で学習する教科書の範囲に目を通す(15-30分程度)					
	復習:授業で学んだ分野をその日のうちに問題演習などで復習する(30-60分程度)					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	職業研究ⅠB(公務員)		担当者	高良,伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	公務員から実際の仕事の話を聞き、公務員に必要な倫理観や、公務員に必要な漢字や四字熟語などの語句も学習する。					
到達目標	実際の仕事の話を聞き、職業観を養い、将来像を明確に持つことが出来る					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	漢字検定				18
	2	企業研究				13
	3	官庁openセミナー				12
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	各指定された資料					
時間外 学習						
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義		講義時期	後期
授業科目	公務員試験演習 I B		担当者	高良,伊佐		科目必修区分	必修
授業概要	1. 公務員試験対象科目(社会科学・人文科学・自然科学・数的推理・課題処理)の各週の授業進捗状況に合わせた演習を行い、授業知識の定着と復習の習慣づけを狙う。 2. 国家公務員及び地方公務員採用試験の模擬問題の演習を元に、各科目の理解の促進を図る。						
到達目標	1. 各演習において、8割以上の得点を目指す。 2. 毎週月曜日に週テストを行う為、土日に最低 3 時間以上の自宅学習を行う習慣を身に着ける						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	冬休み明け総合演習					3
	2	1月第2週授業内容からの総合演習					2
	3	1月第3週授業内容からの総合演習					2
	4	1月第4週授業内容からの総合演習					2
	5	1月第5週授業内容からの総合演習					2
	6	2月第1週授業内容からの総合演習					2
	7	2月第2週授業内容からの総合演習					2
	8	2月第3週授業内容からの総合演習					2
	9	2月第4週授業内容からの総合演習					2
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	1	合計時間数	
教科書	大原公務員対策用テキスト全種						
時間外学習	正答・誤答問題の解きなおし、及び補完知識の学習を行うこと。						
成績評価方法	【出席(30P)】【授業態度(30P)】【評価テスト(40P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	公務員実践演習ⅠB		担当者	高良・伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	官庁訪問で現職公務員の講話を聞き、社会人に求められる資質を高めることを目的とする					
到達目標	志望する公務員の職務内容に対する知識を持ち業務遂行にあたり、求められる職業観や資質を高めることを目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	東京研修事前学習				12
	2	東京研修				18
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書						
時間外 学習						
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	国語表現(基礎)		担当者	伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	ビジネス文書作成の為の漢字や四字熟語、使用例などについて基礎的な内容を学習する					
到達目標	社会人基礎力としての国語力を高めるため、漢字検定準2級合格を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	演習 漢字の読み、同音・同訓異字				3
	2	演習 漢字の識別、部首				3
	3	演習 熟語構成				3
	4	演習 対義語・類義語				3
	5	演習 四字熟語				3
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数			1	合計時間数
教科書	漢字検定テキスト、ドリル、過去問題					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間で問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	国語表現(演習)		担当者	伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	国語表現基礎の授業を踏まえ、実際に演習を行う。					
到達目標	社会人基礎力としての国語力を高めるため、漢字検定準2級合格を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	過去問題演習				15
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数		1	合計時間数	
教科書	漢字検定テキスト、ドリル、過去問題					
時間外 学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。					
	復習の時間で問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	ビジネス実務概論		担当者	古堅 雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	働くうえで必要となるビジネス知識、ビジネスマナーに加え、仕事の進め方やお客様との対応、問題発見・解決といった実践的な能力について指導する。					
到達目標	必要なビジネス知識やビジネスマナーを押さえつつ、実際に課題が起きた際にどのような対応をすればよいのかを考える基礎を身に付けることができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	第1編 第1章 キャリアと仕事へのアプローチ				1
	3	第1編 第2章 仕事の基本となる8つの意識				1
	4	第1編 第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本				1
	5	第1編 第4章-第7章 指示の受け方、話し方、応対訪問のマナーなど				2
	6	ビジネス用語チェックテスト				1
	7	第2編 第1章 仕事への取り組み方				1
	8	第2編 第2章-第3章 ビジネス文書の基本、電話応対				1
	9	第2編 第4章 統計・データの読み方・まとめ方				1
	10	第2編 第5章 情報収集とメディアの活用				1
	11	第2編 第6章 会社を取り巻く環境と経済の基本				1
	12	ビジネス用語チェックテスト				1
	13	過去問演習・解答解説				5
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数	1	合計時間数	18
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト、公式試験問題集					
時間外学習	ビジネス用語チェックテストや過去問演習の解き直しを、テキストも活用しながら、しっかりと行いどこがどう間違っていたのかをしっかりと理解する。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価とする。出席率が80%未満の場合は他の項目の如何に関わらず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	職業研究ⅠB(一般企業)		担当者	古堅 雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	一般的な企業について、実際に人事から話を聞き、様々な業界を比較、分析を通し、職業観や実践力を養う					
到達目標	就職活動に対する基本的な姿勢を身に付けながら、合同企業説明会やインターンシップに参加し、職業観や実践力を高め、ターゲット企業のエントリーシートを完成させる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	就活スタートアップ講座(沖縄県キャリアセンター実施)				2
	3	就職活動に向けての姿勢、働く意義、適職診断				2
	4	JOBカード作成(自己分析、興味関心の探究)				5
	5	合同企業説明会参加、報告会(りゅうナビ、タイムス就職ナビ、マイナビ)				5
	6	インターンシップ参加、報告会				5
	7	エントリーシートの作成				10
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	特になし					
時間外学習	合同企業説明会やインターンシップ後には報告会を実施するため、報告書を授業時間外でしっかり完成させる。エントリーシートは授業外の時間も有効活用して完成させる。					
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、学校基準により4段階評価とする。出席率が80%未満の場合は他の項目の如何に関わらず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	社会人基礎能力としての数理・言語リテラシーⅠ		担当者	片山	科目必修区分	必修
授業概要	民間企業の採用試験で課されるSPI試験対策として言語分野及び非言語分野の解法を習得する。また、社会人として持ち合わせておくべき一般常識(国語・社会・数学・理科)を身に付ける。					
到達目標	①一般社会で使われる文法表現を正しく理解できるとともに、基礎的な漢字の読み書きができる。 ②社会の変化をとらえ、現在起きている日本や世界の問題を説明できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	式の計算(Ⅰ)				2
	2	式の計算(Ⅱ)				2
	3	式の計算(Ⅲ)				2
	4	文字式と指数法則				2
	5	整式の展開と整理				3
	6	整式の因数分解				3
	7	方程式				3
	8	文章題(Ⅰ)				3
	9	文章題(Ⅱ)				3
	10	図形問題(Ⅰ)				3
	11	図形問題(Ⅱ)				3
	12	特殊な問題				3
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	一般常識チェック&マスター、SPI問題集 図解&書き込み式					
時間外 学習	日頃からニュースや新聞に目を通しておくこと。社会の動きを把握しておくことが望ましい。					
	授業時間内で説いたページやプリントは必ず復習し身に付けておくこと。					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	ビジネス文書表現法		担当者	高良	科目必修区分	必修
授業概要	ビジネス文書について、その構造と利点を学び、自らビジネス文書を作成することが出来るようになることを目的とする。					
到達目標	日本情報処理技能検定協会のワープロの検定準2級に合格する程度の技術力を目標とする					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	3 級の振り返り1				1
	2	3 級の振り返り2				1
	3	3 級の振り返り3				1
	4	3 級の振り返り4				1
	5	インデントとスペース				2
	6	表作成				2
	7	文字幅の調整				2
	8	表題の装飾				2
	9	段落番号				2
	10	申込欄の作成				2
	11	準2級程度の段落設定				2
	12	準2級程度の書式設定				2
	13	準2級程度のページレイアウト				2
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	情報処理技能検定協会にて公開されている解答方法と、過去問					
時間外 学習	課題が残れば何度でも演習のやり直しを求める。					
	なお、はじめのうちは毎時間のように小テストを行う。					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習		講義時期	後期
授業科目	職業研究Ⅰ 総合		担当者	古堅		科目必修区分	必修
授業概要	各職業について、グループで情報を共有し、職業観を深める。また集団での仕事をするメリットについて、実際に手を動かしながら学ぶ						
到達目標	2月に行われるインターンシップにて企業からの評価をもっとも良いものをもらってくる						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	就職活動の考え方					1
	2	就職活動における自己分析の大切さ					1
	3	自己分析における考え方					1
	4	自己分析1					1
	5	自己分析2					1
	6	自己分析3					1
	7	企業研究の大切さについて					1
	8	企業研究の仕方					1
	9	合同企業説明会の申込の仕方					1
	10	合同企業説明会の歩き方					1
	11	合同企業説明会後の情報のまとめ方					1
	12	企業研究1					1
	13	企業研究2					1
	14	企業研究3					1
	15	インターンシップ					1
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	
教科書							
時間外学習	インターンシップ参加。企業の分析。						
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							